

FavorPrep™ PCR Clean Up Mini Kit

Cat. No. : FAPC1020 (4 回分) / FAPC1023 (50 回分) / FAPC1025 (200 回分) / FAPC1026 (300 回分)

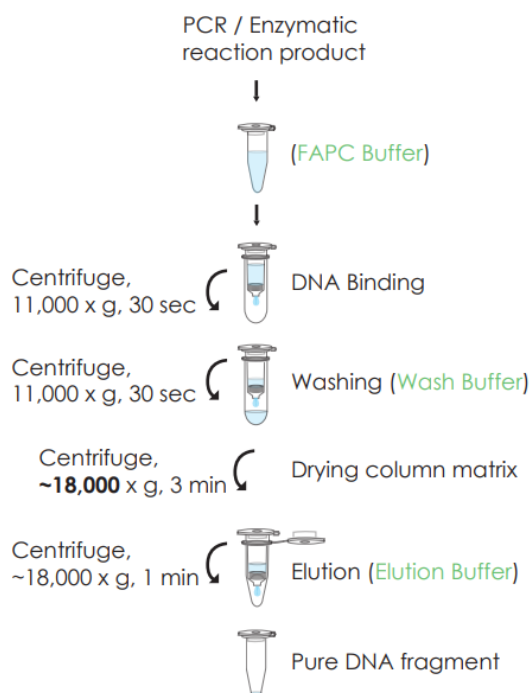
本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

	FAPC1020 (FAPCK 000) (4 preps)	FAPC1023 (FAPCK 001) (50 preps)	FAPC1025 (FAPCK 001-1) (200 preps)	FAPC1026 (FAPCK 001-2) (300 preps)
FAPC Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	110 ml	180 ml
Wash Buffer (Concentrate)*	1 ml	12.5 ml	45 ml	50 ml × 2
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	20 ml	20 ml
FAPC Column	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Collection Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
*添加する 96~100%エタノール量				
Wash Buffer	4 ml	50 ml	180 ml	200 ml

● 基本情報

構成	スピナラム (シリカメンブレン)
結合量	20 μ g
サンプル量	PCR 産物: 最大 100 μ l
DNA サイズ	65 bp~10 kbp
回収率	85~95%
操作時間	≤15 分
溶出量	≥20 μ l



● 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は使用前にエタノール (96~100%) を加えてください。
3. 酵素反応物から濃縮・精製する場合、サンプル量は最大 100 μ l、DNA 断片は最大 5 μ g です。
4. 遠心分離は、11,000~18,000 × g で行ってください。

● **操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。**

1. 10～100 μ l の PCR 産物(オイルを除く)を遠心チューブ(非付属品)に移します。5 倍量の FAPC Buffer を加え、ボルテックスで十分に混和します。
例) 50 μ l のサンプルに対して 250 μ l の FAPC Buffer を加える。
・ サンプルの最大量は 100 μ l(オイルを除く)です。超過する場合は、複数回に分けて処理してください。
2. FAPC Column を Collection Tube に取り付けます。
3. 混合液を FAPC Column に移します。11,000 $\times$ g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
4. 600 μ l の Wash Buffer(エタノール添加)を FAPC Column に加えます。11,000 $\times$ g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
・ Wash Buffer にエタノール(96～100%)が加えられていることを確認してください。
5. 最大速度(～18,000 $\times$ g)で 3 分間遠心分離し、FAPC Column を乾燥させます。
重要! このステップで残留液を完全に除去してください。
6. FAPC Column を Elution Tube(付属品)に取り付けます。
7. ≥ 20 μ l の Elution Buffer または ddH₂O を FAPC Column のメンブレンの中央に加え、1 分間静置します。
重要! 効率よく溶出させるため、Elution Buffer が完全に吸着したことを確認してください。
20 μ l 以下で溶出しないください。収量が減少します。
8. 最大速度(～18,000 $\times$ g)で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

● **トラブルシューティング**

低収量	
サンプル量が多い	サンプルが 100 μ l を超過する場合は、複数回に分けて処理してください。
DNA の溶出が不十分	Elution Buffer または ddH ₂ O の pH が 7.0～8.5 であることを確認してください。
	遠心分離の前に、Elution Buffer または ddH ₂ O がカラムに完全に吸着したことを確認してください。
DNA 断片が 5 kb より大きい	使用前に Elution Buffer または ddH ₂ O を 60℃に温めてください。
精製した DNA がその後のアプリケーションで正しく機能しない	
塩が残留している	カラムを Wash Buffer で 2 度洗浄してください。
エタノールが残留している	Wash Buffer で洗浄後、ろ液を捨て、さらに 3 分間遠心分離してください。